

平成24年度・25年度前期 大学院化学専攻
専門教育科目に関する学生アンケート調査結果
報告書

平成25年9月

奈良女子大学大学院人間文化研究科化学専攻

はしがき

この報告書は、平成24年度前期・後期および25年度前期に大学院化学専攻で行われた化学専攻専門教育科目に対する授業アンケートとカリキュラムアンケートの集計結果を、化学専攻の責任においてまとめたものである。

授業アンケートは、前期および後期終了時に各講義のなかで、化学専攻の合議に基づいて講義の担当教員によって実施されたものである。また、カリキュラムアンケートは、翌年度前期ガイダンス時に当該年度の大学院化学専攻学生に対して、化学専攻の合議に基づいて教務委員と自己点検係によって実施されたものである。

アンケートは学部化学科1～3回生で実施されている授業アンケートと同様に、マークシートと記述の両方で行った。授業アンケートおよびカリキュラムアンケートのマークシートによる回答はすべて集計を行い、その結果を表でまとめ掲載した。また、両アンケートの自由記述意見も（意味のない回答を除き）すべて掲載した。

本報告書は3章立てで、第1章では、平成24年度前期・後期、25年度前期の化学専攻専門教育科目の授業アンケートの集計結果をまとめて掲載し、第2章では、平成24年度の化学専攻カリキュラムの自己点検評価のためのアンケートの集計結果を掲載した。最後に、第3章で、授業およびカリキュラムアンケートの結果をもとにして、化学専攻が実施した改善の対策、対策実施後の状況について簡潔にまとめた。

平成25年9月30日

奈良女子大学大学院人間文化研究科化学専攻

第1章 平成24年度（2012年度）および25年度（2013年度） 前期化学専攻専門科目 授業アンケートの集計結果と解析

平成24年度前期・後期および25年度前期化学専攻専門教育科目の授業アンケートは、該当の講義科目について、4頁に示すような様式で受講学生に対して、各講義の最終日に授業中に時間をとって実施した。

平成24年度前期・後期および25年度前期化学専攻専門科目の講義科目名、受講者数、アンケートの回答数、回収率を表1に示す。また、アンケートの（問2）～（問14）の各講義に対する回答の集計結果を表2～表9（5～12頁）に、自由記述の質問（問15）に対する回答を13～14頁に示す。

表1. 平成24年度および25年度前期開講の講義科目と受講者数、アンケート回答数、回収率

講義科目	受講者数	回答数	回収率
(平成24年度前期)			
有機構造論	23	22	96%
機能性高分子化学	24	22	92%
機能性無機錯体化学Ⅱ	16	15	94%
(平成24年度後期)			
生物有機金属化学	16	13	81%
生物無機化学	11	10	91%
分子統計論	4	4	100%
コロイド溶液分子論	5	5	100%
触媒機能化学	14	14	100%
有機金属錯体化学	8	8	100%
(平成25年度前期)			
分子触媒化学	12	11	92%
界面ナノ化学	13	13	100%
生物有機化学	12	11	92%
基幹化学特論Ⅰ	21	20	95%
機能性高分子化学	22	22	100%
金属クラスター化学	18	18	100%
機能性無機錯体化学Ⅰ	17	13	76%

博士前期課程化学専攻科目の授業アンケート

化学専攻自己点検係 (記入時間 約10分)

このアンケートは毎年実施し、化学専攻開講科目の実態把握と改善のために使っています。アンケートの結果はこの目的以外に使われることはありません(みなさんの成績の評価に影響することはありません)ので、無記名で正直に答えて下さい。ただし、ふざけた回答は絶対にしないで、必ず真面目に答えるようにして下さい。

アンケートの答え方:

- (1) 問1～問14に対して、この用紙上で、最も当てはまると思う答の番号を○で囲ってください。さらに、その答をマークシートの該当する問題番号のところにも記入してください。マークシートは、答の番号の上の縦線でHBの鉛筆(またはシャープペンシル)でマークして答えて下さい。
- (2) 問15の自由記述は、この用紙の指定された空欄に文章等を手書きで記入して下さい。
- (3) マークシートとこの用紙の両方を、記入後直ちに配布した教員に渡して下さい。

※ まずマークシート上部の「名前」の欄に、あなたの名前ではなく、この授業科目名を記入してください。(学籍番号等は記入しなくてよろしい)

- (問1) あなたの入学した年度に該当する番号を選んでください。
1. 平成24年度 2. 平成23年度 3. 平成22年度以前
- (問2) この授業の内容はシラバス(授業案内)に沿ったものでしたか?
1. 沿っていた
2. 沿ったもの以外の違う内容を含んでいた、あるいはシラバスの内容を含んでいなかった
- (問3) この授業は、この授業の担当としてシラバスに記載されている教員が全ての授業を行いましたか?
1. すべての授業をシラバス記載の担当教員が行った
2. シラバス記載とは異なる人が授業を行ったことがある
- (問4) この授業で、代講のない休講(代講があった休講は除く)は何回ありましたか?その回数をマークして下さい。休講がなかった場合は選択肢「0」をマークして下さい。
- (問5) この授業内容を理解できましたか?
1. ほとんど理解できた 2. どちらかという理解できた
3. どちらかといえば理解できなかった 4. ほとんど理解できなかった
- (問6) この授業内容は興味深いものでしたか?
1. 大変興味深い 2. やや興味深い 3. あまり興味深くない 4. 全然興味深くない
- (問7) この授業内容に満足できましたか?
1. 大変満足 2. やや満足 3. やや不満足 4. 大変不満足
- (問8) 教員の教え方に満足できましたか?
1. 大変満足 2. やや満足 3. やや不満足 4. 大変不満足
- (問9) この授業は教科書や教材・資料をうまく活用したものでしたか?
1. 大変うまく活用 2. ややうまく活用
3. あまりうまく活用していない 4. 全然大丈夫活用していない
- (問10) この授業内容のレベルはどうでしたか?
1. 高過ぎる 2. 適度に高い 3. やや低い 4. 低過ぎる
- (問11) この授業を欠席した回数をマークして下さい。9回以上欠席は選択肢「9」を、欠席がない場合には選択肢「0」をマークして下さい。
- (問12) この授業科目について、あなたは1週間あたり平均して何時間自習しましたか?その時間数に相当する数字をマークして下さい。9時間以上の場合には選択肢「9」をマークして下さい。
- (問13) あなたは意欲的に勉強しましたか?
1. 大変 Yes 2. やや Yes 3. やや No 4. 全然 No
- (問14) 授業内容のうち、理解できなかったものがあるとすれば、それを理解できなかった理由を次の中から、当てはまる番号すべてマークして下さい。
1. 内容自体が高度すぎる。 2. 内容が多すぎる。
3. 進度が速すぎる。 4. 授業時間が短すぎる。
5. 教員の説明がわかりにくい。 6. 教科書がよくない。
7. 自分の自習が足りない。 8. 前提となる予備知識が足りない。
9. その他
- (問15) この授業に関して特に意見があれば下の空欄に書いて下さい。マークシートにマークする必要はありません。

(問2) この授業の内容はシラバス(授業案内)に沿ったものでしたか?

1. 沿っていた
2. 沿ったもの以外の違う内容を含んでいた、あるいはシラバスの内容を含んでいなかった

(問3) この授業は、この授業の担当としてシラバスに記載されている教員が全ての授業を行いましたか?

1. すべての授業をシラバス記載の担当教員が行った
2. シラバス記載とは異なる人が授業を行ったことがある

(問4) この授業で、代講のない休講(代講があった休講は除く)は何回ありましたか?その回数をマークして下さい。休講がなかった場合は選択肢「0」をマークして下さい。

表2. (問2)、(問3)、(問4)に対する回答(数値は%)

講義科目	(問2)		(問3)		(問4)				
	1	2	1	2	0	1	2	3	4
(平成24年度前期)									
有機構造論	100	0	100	0	55	45	0	0	0
機能性高分子化学	100	0	100	0	100	0	0	0	0
機能性無機錯体化学Ⅱ	100	0	100	0	73	20	7	0	0
(平成24年度後期)									
生物有機金属化学	100	0	100	0	8	15	15	23	5(38%)
生物無機化学	100	0	100	0	80	20	0	0	0
分子統計論	100	0	100	0	50	50	0	0	0
コロイド溶液分子論	100	0	100	0	40	60	0	0	0
触媒機能化学	100	0	100	0	86	0	0	0	0
有機金属錯体化学	100	0	100	0	63	38	0	0	0
(平成25年度前期)									
分子触媒化学	100	0	100	0	36	64	0	0	0
界面ナノ化学	100	0	100	0	31	69	0	0	0
生物有機化学	100	0	100	0	91	9	0	0	0
基幹化学特論Ⅰ	100	0	100	0	15	45	40	0	0
機能性高分子化学	100	0	100	0	36	59	5	0	0
金属クラスター化学	100	0	100	0	100	0	0	0	0
機能性無機錯体化学Ⅰ	100	0	100	0	8	46	46	0	0

(問5) この授業内容を理解できましたか？

1. ほとんど理解できた 2. どちらかというと理解できた
3. どちらかといえば理解できなかった 4. ほとんど理解できなかった

(問6) この授業内容は興味深いものでしたか？

1. 大変興味深い 2. やや興味深い 3. あまり興味深くない 4. 全然興味深くない

表3. (問5)、(問6) に対する回答 (数値は%)

講義科目	(問5)				(問6)			
	1	2	3	4	1	2	3	4
(平成24年度前期)								
有機構造論	0	27	55	18	14	59	27	0
機能性高分子化学	14	86	0	0	55	41	5	0
機能性無機錯体化学Ⅱ	27	73	0	0	47	53	0	0
(平成24年度後期)								
生物有機金属化学	0	92	8	0	77	23	0	0
生物無機化学	20	40	30	10	40	60	0	0
分子統計論	25	50	25	0	50	50	0	0
コロイド溶液分子論	20	60	20	0	40	60	0	0
触媒機能化学	14	71	14	0	43	57	0	0
有機金属錯体化学	0	50	38	13	63	25	13	0
(平成25年度前期)								
分子触媒化学	9	64	27	0	64	27	0	0
界面ナノ化学	31	62	8	0	69	31	0	0
生物有機化学	0	100	0	0	64	36	0	0
基幹化学特論Ⅰ	5	50	35	10	25	70	5	0
機能性高分子化学	32	59	9	0	59	36	5	0
金属クラスター化学	11	78	11	0	78	11	11	0
機能性無機錯体化学Ⅰ	15	54	31	0	23	46	31	0

(問7) この授業内容に満足できましたか？

1. 大変満足 2. やや満足 3. やや不満足 4. 大変不満足

(問8) 教員の教え方に満足できましたか？

1. 大変満足 2. やや満足 3. やや不満足 4. 大変不満足

表4. (問7)、(問8)に対する回答(数値は%)

講義科目	(問7)				(問8)			
	1	2	3	4	1	2	3	4
(平成24年度前期)								
有機構造論	5	73	23	0	5	73	23	0
機能性高分子化学	59	41	0	0	59	41	0	0
機能性無機錯体化学Ⅱ	47	53	0	0	33	67	0	0
(平成24年度後期)								
生物有機金属化学	85	15	0	0	85	15	0	0
生物無機化学	40	50	10	0	30	60	10	0
分子統計論	50	50	0	0	50	50	0	0
コロイド溶液分子論	60	40	0	0	60	40	0	0
触媒機能化学	36	64	0	0	36	64	0	0
有機金属錯体化学	50	50	0	0	75	25	0	0
(平成25年度前期)								
分子触媒化学	73	27	0	0	64	36	0	0
界面ナノ化学	69	31	0	0	69	31	0	0
生物有機化学	64	36	0	0	55	45	0	0
基幹化学特論Ⅰ	35	65	0	0	35	65	0	0
機能性高分子化学	73	27	0	0	77	23	0	0
金属クラスター化学	78	22	0	0	83	17	0	0
機能性無機錯体化学Ⅰ	38	54	8	0	54	46	0	0

(問9) この授業は教科書や教材・資料をうまく活用したものでしたか？

1. 大変うまく活用 2. ややうまく活用
3. あまりうまく活用していない 4. 全然うまく活用していない

(問10) この授業内容のレベルはどうでしたか？

1. 高過ぎる 2. 適度に高い 3. やや低い 4. 低過ぎる

表5. (問9)、(問10)に対する回答 (数値は%)

講義科目	(問9)				(問10)			
	1	2	3	4	1	2	3	4
(平成24年度前期)								
有機構造論	14	59	23	0	45	55	0	0
機能性高分子化学	55	41	5	0	0	95	5	0
機能性無機錯体化学Ⅱ	47	53	0	0	0	100	0	0
(平成24年度後期)								
生物有機金属化学	77	23	0	0	0	100	0	0
生物無機化学	60	40	0	0	40	60	0	0
分子統計論	0	75	25	0	50	50	0	0
コロイド溶液分子論	80	20	0	0	0	100	0	0
触媒機能化学	36	57	0	0	0	100	0	0
有機金属錯体化学	50	50	0	0	25	75	0	0
(平成25年度前期)								
分子触媒化学	82	18	0	0	18	82	0	0
界面ナノ化学	77	23	0	0	8	92	0	0
生物有機化学	18	82	0	0	0	100	0	0
基幹化学特論 I	50	50	0	0	40	60	0	0
機能性高分子化学	59	41	0	0	5	95	0	0
金属クラスター化学	39	61	0	0	0	100	0	0
機能性無機錯体化学 I	46	54	0	0	8	92	0	0

(問 1 1) この授業を欠席した回数をマークして下さい。9回以上欠席は選択肢「9」を、欠席がない場合には選択肢「0」をマークして下さい。

表 6. (問 1 1) に対する回答 (数値は%)

講義科目	(問 1 1)									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(平成24年度前期)	23	41	23	9	0	0	5	0	2	2
有機構造論	27	23	23	18	9	0	0	0	0	3
機能性高分子化学	27	67	0	7	0	0	0	0	0	0
機能性無機錯体化学Ⅱ	15	38	23	8	0	0	8	0	0	2
(平成24年度後期)										
生物有機金属化学	20	50	10	10	10	0	0	0	3	0
生物無機化学	75	25	0	0	0	0	0	0	0	2
分子統計論	20	80	0	0	0	0	0	0	0	0
コロイド溶液分子論	43	36	14	7	0	0	0	0	0	0
触媒機能化学	88	13	0	0	0	0	0	0	0	3
有機金属錯体化学	23	41	23	9	0	0	5	0	0	0
(平成25年度前期)										
分子触媒化学	36	9	18	0	9	9	0	0	3	0
界面ナノ化学	69	23	8	0	0	0	0	0	0	0
生物有機化学	45	27	18	9	0	0	0	0	0	0
基幹化学特論Ⅰ	40	40	20	0	0	0	0	0	0	0
機能性高分子化学	27	59	9	5	0	0	0	0	0	0
金属クラスター化学	67	33	0	0	0	0	0	0	0	0
機能性無機錯体化学Ⅰ	38	54	8	0	0	0	0	0	0	0

(問12) この授業科目について、あなたは1週間あたり平均して何時間自習しましたか？その時間数に相当する数字をマークして下さい。9時間以上の場合は選択肢「9」をマークして下さい。

表7. (問12) に対する回答 (数値は%)

講義科目	(問12)									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(平成24年度前期)										
有機構造論	73	27	0	0	0	0	0	0	0	0
機能性高分子化学	77	18	0	0	5	0	0	0	0	0
機能性無機錯体化学Ⅱ	60	40	0	0	0	0	0	0	0	0
(平成24年度後期)										
生物有機金属化学	46	54	0	0	0	0	0	0	0	0
生物無機化学	20	70	0	0	0	0	0	0	0	0
分子統計論	25	75	0	0	0	0	0	0	0	0
コロイド溶液分子論	20	80	0	0	0	0	0	0	0	0
触媒機能化学	29	64	0	0	0	0	0	0	0	0
有機金属錯体化学	38	63	0	0	0	0	0	0	0	0
(平成25年度前期)										
分子触媒化学	55	27	0	0	0	0	0	0	0	0
界面ナノ化学	62	31	8	0	0	0	0	0	0	0
生物有機化学	27	27	27	18	0	0	0	0	0	0
基幹化学特論Ⅰ	65	35	0	0	0	0	0	0	0	0
機能性高分子化学	73	18	9	0	0	0	0	0	0	0
金属クラスター化学	67	33	0	0	0	0	0	0	0	0
機能性無機錯体化学Ⅰ	69	23	0	8	0	0	0	0	0	0

(問13) あなたは意欲的に勉強しましたか？

1. 大変 Yes 2. やや Yes 3. やや No 4. 全然 No

表8. (問13) に対する回答 (数値は%)

講義科目	(問13)			
	1	2	3	4
(平成24年度前期)				
有機構造論	5	9	50	36
機能性高分子化学	5	36	55	0
機能性無機錯体化学Ⅱ	7	53	40	0
(平成24年度後期)				
生物有機金属化学	8	69	23	0
生物無機化学	10	40	40	0
分子統計論	50	50	0	0
コロイド溶液分子論	20	60	20	0
触媒機能化学	14	79	7	0
有機金属錯体化学	0	50	50	0
(平成25年度前期)				
分子触媒化学	0	55	36	0
界面ナノ化学	8	54	15	15
生物有機化学	18	73	9	0
基幹化学特論Ⅰ	5	55	25	15
機能性高分子化学	14	32	41	5
金属クラスター化学	22	50	22	6
機能性無機錯体化学Ⅰ	0	62	15	15

(問14) 授業内容のうち、理解できなかったものがあるとするば、それを理解できなかった理由を次の中から、当てはまる番号すべてマークして下さい。

1. 内容自体が高度すぎる。
2. 内容が多すぎる。
3. 進度が速すぎる。
4. 授業時間が短すぎる。
5. 教員の説明がわかりにくい。
6. 教科書がよくない。
7. 自分の自習が足りない。
8. 前提となる予備知識が足りない。
9. その他

表9. (問14) に対する回答 (数値は%)

講義科目	(問14)								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(平成24年度前期)									
有機構造論	41	9	9	0	18	5	50	55	5
機能性高分子化学	5	14	0	0	0	5	55	59	5
機能性無機錯体化学Ⅱ	7	7	0	0	0	0	47	27	20
(平成24年度後期)									
生物有機金属化学	8	15	8	15	0	0	54	46	8
生物無機化学	30	30	0	0	10	0	80	60	0
分子統計論	50	25	0	0	0	0	75	50	0
コロイド溶液分子論	0	0	0	0	0	0	100	40	0
触媒機能化学	7	7	21	14	0	0	50	50	7
有機金属錯体化学	38	13	0	13	0	0	75	50	0
(平成25年度前期)									
分子触媒化学	0	9	0	9	0	0	73	18	0
界面ナノ化学	8	0	0	8	0	0	23	23	8
生物有機化学	9	0	9	9	0	0	45	36	0
基幹化学特論Ⅰ	30	0	10	0	0	0	50	30	0
機能性高分子化学	0	0	0	0	0	0	32	36	0
金属クラスター化学	6	0	0	0	0	0	78	56	0
機能性無機錯体化学Ⅰ	15	0	0	0	0	0	54	54	0

(問15) この授業に関して特に意見があれば下の空欄に書いて下さい。マークシートにマークする必要はありません。

(平成24年度前期)

有機構造論

(回答なし)

機能性高分子化学

(回答なし)

機能性無機錯体化学Ⅱ

(回答なし)

(平成24年度後期)

生物有機金属化学

○肯定的な意見：

- ・先生のスライドも見やすく満足できる授業だった。説明の仕方もわかるように話してくれて理解できた。

○批判を含む意見：

- ・TAと授業がかぶり、出席できないときがあった。

生物無機化学

○批判を含む意見：

- ・電子伝達タンパク質やシクロクロムについてもっと教えていただきたかった。

分子統計論

(回答なし)

コロイド溶液分子論

(回答なし)

触媒機能化学

(回答なし)

有機金属錯体化学

(回答なし)

(平成25年度前期)

分子触媒化学

○肯定的な意見：

- ・論文を理解する上で助けになる授業だった。
- ・論文セミナーに役に立つ内容でとても勉強になった。

界面ナノ化学

(回答なし)

生物有機化学

(回答なし)

基幹化学特論Ⅰ

(回答なし)

機能性高分子化学

○肯定的な意見：

・楽しかった。

金属クラスター化学

(回答なし)

機能性無機錯体化学 I

(回答なし)

第2章 平成24年度（2012年度）化学専攻カリキュラム アンケート（博士前期課程1年対象）の集計結果と解析

平成24年度化学専攻カリキュラムの自己点検評価のためのアンケートは、24年度該当の化学専攻専門教育科目について、16～17頁に示すような様式で博士前期課程1年に対して実施した。アンケートの実施は、2013年度前期のガイダンス時に時間をとって行った。

平成24年度化学専攻1年の学生数とアンケートの回答数、回収率を表10に示す。また、(2)～(8)の回答の集計結果を18～19頁に、(8)～(12)の自由記述に対する回答を各学年別に20頁に示す。

表10. 博士前期課程1年の学生数とアンケートの回答数、回収率

学年	学生数	回答数	回収率
1年	17	14	82%

博士前期課程化学専攻カリキュラムの自己点検評価のためのアンケート

化学専攻教務

(記入所要時間 約15分)

このアンケートは毎年実施され、結果は統計データとして集積されて化学専攻のカリキュラムの実態を把握してカリキュラムを改善するために使われます。アンケートの結果はこの目的以外に使われることはありません(みなさんの成績の評価に影響することはありません)ので、無記名で正直に答えて下さい。

各問題番号に対して、マークシート上の、最も当てはまると思う答の番号の上に、縦線を鉛筆またはシャープペンシルでマークして答えて下さい。また、別途自由記述を指示しているところは、この用紙の指定された空欄に文章を記入して下さい。マークシートとこの用紙の両方を記入後直ちに配布した教員に渡して下さい。

【学習効果についての質問】

- (1) あなたは全体として化学専攻の教科内容を自分で消化できていると思いますか？
1. ほとんど消化できている。
 2. どちらかといえば消化できている。
 3. どちらかといえば消化できていない。
 4. ほとんど消化できていない。
- (2) これら化学専攻科目のために、1日に平均で計何時間、自習していますか？時間数をマークして下さい。
- (3) (2)の自習時間数は内容の習得のために十分だと思いますか？
1. 完全に十分
 2. やや十分
 3. やや不十分
 4. 全く不十分

【進路についての質問】

- (4) あなたは将来、化学に関連した職業に就きたい希望が今ありますか？
1. 希望している。
 2. 希望していない。
 3. わからない。
- (5) あなたは、大学院で修士課程を修了してさらに大学院博士後期課程(博士課程)への進学を希望していますか？
1. 希望している。
 2. 希望していない。
 3. わからない。

【カリキュラムについての質問】

- (6) 化学科専門科目のカリキュラム(教育課程)は、あなたが化学を勉強する上で適切ですか？また、どういう点が適切であったり、適切でないのか、下の空欄に具体的に書いてください。
1. 適切。
 2. どちらかといえば適切。
 3. どちらかといえば適切でない。
 4. ほとんど適切でない。

【自由記述の質問】(これ以下の質問はマークシートに記入せず空欄に記述して下さい)

- (7) あなたが授業終了後自習するにあたって、大学のシステムや設備、環境等の問題がその障害になっていると思うことがありますか？もしあれば具体的に書いて下さい。

~~~~~<裏面に続く>~~~~~



- (8) 平成 24 年度に受講した化学専攻科目の中で、最も自分にとって評価できる授業科目を挙げ（複数可）、どういう点がよかったかを書いてください。

科目名・担当教員：

評価できる点：

- (9) 平成 24 年度に受講した化学専攻科目の中で、もし特に問題を感じる点のあった科目があれば、その科目を挙げ、どういう点が問題であったか具体的に書いてください。

科目名・担当教員：

問題点：

- (10) 化学専攻カリキュラム・化学専攻での教育のやり方に対して改善してほしい点、その他、考え・意見を自由に書いて下さい。

**【学習効果についての質問】**

(1) あなたは全体として化学専攻の教科内容を自分で消化できていると思いますか？

1. ほとんど消化できている                      2. どちらかといえば消化できている  
3. どちらかといえば消化できていない      4. ほとんど消化できていない

| 学年 | 1      | 2        | 3       | 4      | 人(%) |
|----|--------|----------|---------|--------|------|
| 1年 | 0 (0%) | 10 (71%) | 4 (29%) | 0 (0%) |      |

(2) これら化学専攻科目のために、1日に平均で計何時間、自習していますか？時間数をマークして下さい。

| 学年 | 0      | 1      | 2      | 3     | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 人(%) |
|----|--------|--------|--------|-------|---|---|---|---|---|---|------|
| 1年 | 2(14%) | 9(64%) | 2(14%) | 1(7%) |   |   |   |   |   |   |      |

(3) (2)の自習時間数は内容の習得のために十分だと思いますか？

1. 完全に十分              2. やや十分              3. やや不十分              4. まったく不十分

| 学年 | 1      | 2       | 3       | 4       | 人(%) |
|----|--------|---------|---------|---------|------|
| 1年 | 1 (7%) | 3 (21%) | 7 (50%) | 3 (21%) |      |

**【進路についての質問】**

(4) あなたは将来、化学に関連した職業に就きたい希望が今ありますか？

1. 希望している              2. 希望していない              3. わからない

| 学年 | 1        | 2      | 3      | 人(%) |
|----|----------|--------|--------|------|
| 1年 | 12 (86%) | 1 (7%) | 1 (7%) |      |

(5) あなたは、大学院で修士課程を修了してさらに大学院博士後期課程（博士課程）への進学を希望していますか？

1. 希望している              2. 希望していない              3. わからない

| 学年 | 1      | 2        | 3       | 人(%) |
|----|--------|----------|---------|------|
| 1年 | 0 (0%) | 12 (86%) | 2 (14%) |      |

**【カリキュラムについての質問】**

(6) 化学専攻科目のカリキュラム（教育課程）は、あなたが化学を勉強する上で適切ですか？また、どういふ点が適切であったり、適切でないのか、下の空欄に具体的に書いて下さい。

1. 適切
2. どちらかといえば適切
3. どちらかといえば適切でない
4. ほとんど適切でない

| 学年 | 1       | 2       | 3      | 4       | 人(%) |
|----|---------|---------|--------|---------|------|
| 1年 | 3 (21%) | 7 (50%) | 0 (0%) | 2 (14%) |      |

## 自由記述の回答結果

(6) 化学専攻科目のカリキュラム(教育課程)は、あなたが化学を勉強する上で適切ですか?また、どのような点が適切であったり、適切でないのか、下の空欄に具体的に書いて下さい。

### 「1. 適切」という意見

- ・知識を増やすことができる。
- ・より専門的な内容を学べるため。また、研究内容と異なる分野も化学専攻として身につけれる。

### 「2. どちらかといえば適切」という意見

- ・指導教官の教育体制は不満です。しっかり仕事をしてほしい。
- ・研究室配属では少人数制なので、先生との距離が近くてよい。
- ・幅広い分野の化学を勉強することが可能な点。
- ・専門としている分野のこと以外のことも知れるのでよいと思うが、自分の研究に役立っているかといわれると疑問である点。

### 「3. どちらかといえば適切でない」という意見

- ・実験と授業を両立することが難しいため。

(7) あなたが授業終了後自習するにあたって、大学のシステムや設備、環境等の問題がその障害になっていると思うことがありますか? もしあれば具体的に書いて下さい。

- ・図書館にない論文を読みたいことがある。取り寄せると時間がかかる。
- ・論文を自由にとれるようになったので便利になった。図書館の開館時間が土曜日が短くなっており、使いたいときに使えない。
- ・夏休み春休み中も夜の食堂をやってほしい。

(8) 平成24年度に受講した化学専攻科目の中で、最も自分にとって評価できる授業科目を挙げ(複数可)、どのような点がよかったかを書いて下さい。

- 触媒機能化学(1名):      ・論文発表がためになった。
- 有機構造論(1名):      ・MSやNMRについて理解を深めることができる点。

(9) 平成24年度に受講した化学専攻科目の中で、もし特に問題を感じる点のあった科目があれば、その科目を挙げ、どのような点が問題であったか具体的に書いて下さい。

- セミナー(1名):      ・研究室ごとに差が大きすぎないか、何らかの基準や目安が必要と思う。

(10) 化学専攻カリキュラム・化学専攻での教育のやり方に対して改善してほしい点、その他、考え・意見を自由に書いて下さい。

- ・少人数でよい。
- ・他の研究室の人と話すかぎり、セミナーの時間数などに大きく差があるような印象を受ける。

### 第3章 化学専攻授業アンケートおよびカリキュラムアンケートの総括

学部化学科の授業アンケートおよびカリキュラムアンケートはかなり前から化学科の責任で実施しているが、大学院人間文化研究科化学専攻の授業アンケート、カリキュラムアンケートは平成24年度の実施が初めてである。

学部の授業と異なり大学院での授業は専門に近い内容となるため、学部化学科の授業アンケートではほとんど見られなかった、「内容をどちらかといえば理解できなかった、ほとんど理解できなかった」の回答がやや多く見受けられた。専門に近く、やや難しい授業内容となるため、仕方のないようにも思われるが、「内容は興味深いものでしたか?」、「内容に満足していますか?」、「教え方に満足できましたか?」の間に、ほとんどの学生が「大変興味深い、満足」、「やや興味深い、満足」(6・7頁)と回答しており、授業のあり方については全く問題ない。実際、自由記述から、「説明の仕方もわかるように話してくれて理解できた」、「セミナーの論文に役に立った」(2件)(13頁)といった意見もある。ただ、生物有機金属化学の授業で「TAと授業がかぶり、出席できないときがあった」(13頁)という意見に関しては、今後、学生実験などのTAの業務と授業が重複して、学生が不利益とならないように慎重にカリキュラムを考える必要がある。

カリキュラムアンケートにおいて、「化学専攻のカリキュラムは適切ですか?」の間に、71%の学生が「適切」または「どちらかといえば適切」と回答しており(19頁)、化学専攻のカリキュラムに大きな問題は生じていないことを示している。化学専攻では最近、ACS系の雑誌をWebで自由に閲覧することができるようになり、また、化学関連情報データベースSciFinderをこれまでのアクセス制限付きから制限なしでフリーに使用できるようになり、研究環境がかなり向上した。このことは「論文を自由にとれるようになったので便利になった」(20頁(7))という意見に反映されている。今回「セミナー」に関しては授業アンケートを実施していないが、「研究室によって時間数などに大きな差がある」(2件)という意見があり、今後の検討課題である。

平成24年度のカリキュラムアンケートは、博士前期課程1年のみしか実施していないため、2年間の課程を修了した大学院生の声は反映されていない。25年度は博士前期課程1年と2年の院生を対象に実施していきたい。